



11月の園だより

R7. 富田林市立喜志幼稚園

笑顔がいっぱい

園長 古村 勝俊

朝晩の冷え込みに季節の移ろいを感じます。運動会から3週間が経ちました。園では、ゆったりとした時間が流れています。子どもたちは、笑顔でのびのびと好きな遊びを楽しんでいます。4月の頃の姿が重なり、園庭を駆け回る子どもたちが、とてもたくましく目に映ります。

「えんちょう先生、おはようございます。」「今日は、がんばって、ようちえんに、行ったよ(来たよ)。」

この子の初めての挨拶と伝えたい気持ちでした。柔らかい笑顔と心のこもったステキな言葉に、心がパツと明るくなりました。きっとお家の方が日頃から丁寧に気持ちを聞いたり伝えたりされているのでしょう。

「自分から、あいさつができたね。園長先生、うれしいな。」「がんばって、幼稚園に、来たんだね。」

この子に限らず、2学期は自分から挨拶する子が増えました。目が合うとお母さんの背に隠れていた子も、今では、自分から先に笑顔で「おはようございます」が言えます。自信の芽生えと心の成長を感じます。

さて、この秋さまざまな行事を経験しながら、子どもたちはそれぞれに成長した姿を見せてくれています。暑い中で練習に励んだ運動会や秋を満喫したリス公園への遠足、おじいちゃん・おばあちゃんと触れ合い愛情をいっぱい感じたコスモスの集い。さらには、喜志町のだんじりに乗せていただき、地域の方々の温かさに触れる体験もしました。どの行事にも、ステキな笑顔がいっぱいでした。

ハロウィンパーティー(親子交流会)では、踊って笑ってみんなで楽しい時間を過ごすことができました。ご尽力いただいたPTA役員の皆さん、お疲れさまでした。本当にありがとうございました。

これから秋がさらに深まり、木枯らし1号の便りも聞こえてきそうです。この秋、一回り成長した子どもたちが、これからどんな姿を見せてくれるか、とても楽しみです。11月8日には、喜志中学校区の「ふれあいフェスタ」で舞台発表に参加します。喜志幼稚園は、全園児で「園歌」と「みんなでオーイエイ」を披露します。緊張しながらも一生懸命頑張る姿を温かく見守ってあげてください。ご家庭と地域の皆さんとともに、子どもたちの成長の喜びを分かち合える機会になればうれしく思います。11月も、笑顔いっぱい喜志幼稚園になるよう、みんなで頑張ってみます。引き続き、皆さまのお力添えをよろしくお願いいたします。



幼稚園ウィーク(13日~19日)



11月16日は幼稚園記念日となっています。その前後3日ずつ、13日から19日まで「全国幼稚園ウィーク」とし、学校教育としての幼稚園教育を保護者や地域の方々により知って頂く期間としています。本園では、13日をぱんだ組の日として園児が作った遊びの一部で遊ぶ機会を予定しています。また、12日の参観では保護者の方に公立幼稚園の保育活動の根幹である「遊びの中にある学び」についてお伝えできる機会にしたいと考えています。

今後も遊びの中で子ども達自身が気づき、考え、工夫できるよう見守っていきたいと考えています。

11月生まれのお友達

おたんじょうびおめでとう

〈ほし組〉

・◎◎ ◎◎さん(8日)

〈はな組〉

・△△ △△さん(1日)

・■ ■ ■ ■さん(7日)

・○○ ○○さん(28日)

〈みかん組〉

・◇◇ ◇◇さん(21日)

